

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2012年6月15日から2022年6月6日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 オーストラリア高配当株式マザーファンド オーストラリアの取引所に上場している高配当株式等
当ファンドの運用方法	<p>■マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。</p> <p>■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策等を勘案して厳選します。</p> <p>■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>
組入制限	<p>当ファンド</p> <p>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>オーストラリア高配当株式マザーファンド</p> <p>■株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
分配方針	<p>■毎月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

# オーストラリア・高配当株ファンド (毎月決算型) 【運用報告書(全体版)】

第14作成期（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

第 **79** 期 / 第 **80** 期 / 第 **81** 期  
 決算日2019年1月7日 決算日2019年2月5日 決算日2019年3月5日

第 **82** 期 / 第 **83** 期 / 第 **84** 期  
 決算日2019年4月5日 決算日2019年5月7日 決算日2019年6月5日

## 受益者の皆さまへ

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
 (旧:三井住友アセットマネジメント)  
 〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
 受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 率	投 資 信 託 入 率	純 資 産 額
		(分配落)	税 分 配	込 金 期 騰 落 中 率			
第10 作成期	55期 (2017年 1 月 5 日)	円 8,280	円 130	% 7.1	% 53.3	% 38.6	百万円 3,538
	56期 (2017年 2 月 6 日)	8,018	100	△2.0	59.1	37.8	3,737
	57期 (2017年 3 月 6 日)	8,213	100	3.7	60.1	35.8	4,257
	58期 (2017年 4 月 5 日)	8,110	100	△0.0	60.7	36.5	4,442
	59期 (2017年 5 月 8 日)	8,079	100	0.9	59.7	37.3	4,656
	60期 (2017年 6 月 5 日)	7,959	100	△0.2	60.2	37.7	5,002
第11 作成期	61期 (2017年 7 月 5 日)	8,099	100	3.0	61.7	35.8	5,420
	62期 (2017年 8 月 7 日)	8,128	70	1.2	61.7	36.4	5,578
	63期 (2017年 9 月 5 日)	8,138	70	1.0	60.8	36.3	6,306
	64期 (2017年10月 5 日)	8,074	70	0.1	61.2	37.0	6,836
	65期 (2017年11月 6 日)	8,283	70	3.5	61.8	37.1	7,227
	66期 (2017年12月 5 日)	8,130	70	△1.0	61.4	37.1	7,431
第12 作成期	67期 (2018年 1 月 5 日)	8,380	70	3.9	62.7	34.8	7,728
	68期 (2018年 2 月 5 日)	8,069	70	△2.9	64.5	33.7	7,552
	69期 (2018年 3 月 5 日)	7,377	70	△7.7	63.2	33.6	7,056
	70期 (2018年 4 月 5 日)	7,243	70	△0.9	63.6	34.4	7,097
	71期 (2018年 5 月 7 日)	7,480	70	4.2	65.2	34.2	7,353
	72期 (2018年 6 月 5 日)	7,644	70	3.1	64.0	34.3	7,625
第13 作成期	73期 (2018年 7 月 5 日)	7,524	70	△0.7	66.4	31.1	7,303
	74期 (2018年 8 月 6 日)	7,492	70	0.5	67.2	31.6	7,058
	75期 (2018年 9 月 5 日)	7,279	70	△1.9	64.8	31.9	6,987
	76期 (2018年10月 5 日)	7,300	70	1.3	66.8	31.5	6,974
	77期 (2018年11月 5 日)	6,901	70	△4.5	66.1	32.1	6,531
	78期 (2018年12月 5 日)	6,921	50	1.0	64.8	33.8	6,520
第14 作成期	79期 (2019年 1 月 7 日)	6,285	50	△8.5	65.4	32.3	5,883
	80期 (2019年 2 月 5 日)	6,786	50	8.8	66.5	31.9	6,209
	81期 (2019年 3 月 5 日)	7,221	50	7.1	65.6	31.9	6,203
	82期 (2019年 4 月 5 日)	7,278	50	1.5	66.0	32.8	6,008
	83期 (2019年 5 月 7 日)	6,955	50	△3.8	64.2	34.7	5,236
	84期 (2019年 6 月 5 日)	6,801	50	△1.5	61.1	36.8	4,992

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 比 率
			騰 落 率		
第79期	(期 首) 2018年12月 5 日	円 6,921	% —	% 64.8	% 33.8
	12月末	6,446	△6.9	64.4	33.0
	(期 末) 2019年 1 月 7 日	6,335	△8.5	65.4	32.3
第80期	(期 首) 2019年 1 月 7 日	6,285	—	65.4	32.3
	1月末	6,800	8.2	66.2	31.7
	(期 末) 2019年 2 月 5 日	6,836	8.8	66.5	31.9
第81期	(期 首) 2019年 2 月 5 日	6,786	—	66.5	31.9
	2月末	7,231	6.6	65.4	32.2
	(期 末) 2019年 3 月 5 日	7,271	7.1	65.6	31.9
第82期	(期 首) 2019年 3 月 5 日	7,221	—	65.6	31.9
	3月末	7,201	△0.3	64.7	33.1
	(期 末) 2019年 4 月 5 日	7,328	1.5	66.0	32.8
第83期	(期 首) 2019年 4 月 5 日	7,278	—	66.0	32.8
	4月末	7,287	0.1	64.1	34.2
	(期 末) 2019年 5 月 7 日	7,005	△3.8	64.2	34.7
第84期	(期 首) 2019年 5 月 7 日	6,955	—	64.2	34.7
	5月末	6,895	△0.9	61.4	35.7
	(期 末) 2019年 6 月 5 日	6,851	△1.5	61.1	36.8

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

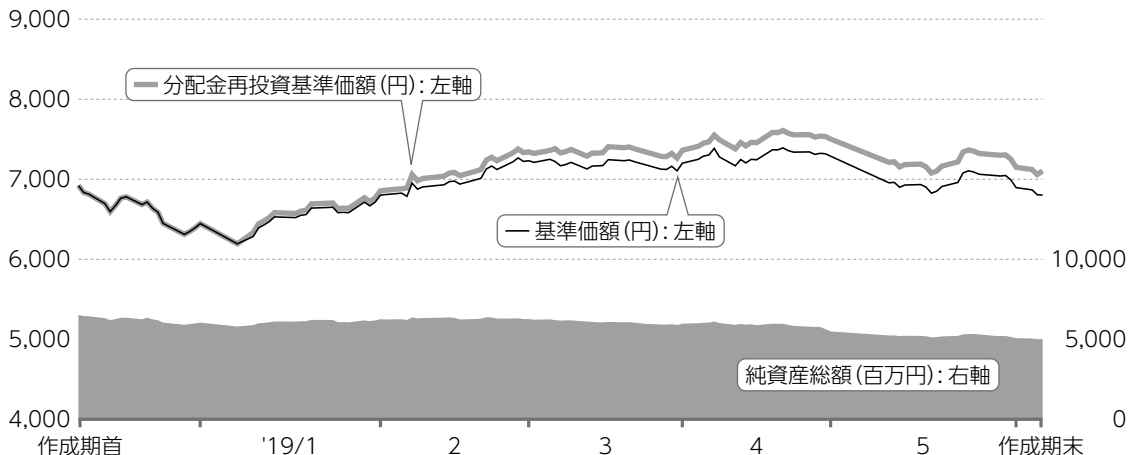
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,921円
作成期末	7,101円 (当作成期分配金300円(税引前)込み)
騰落率	+2.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### 基準価額の主な変動要因（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- 1月から4月にかけて、中国政府の景気刺激策発表や米中通商協議進展への期待などを背景に、オーストラリア株式市場が堅調だったこと
- 1月のブラジル鉱山でのダム決壊事故を受けた供給懸念から鉄鉱石価格が上昇し、オーストラリアの鉱山株が堅調だったこと

#### 下落要因

- 作成期首から2019年1月上旬にかけて、米中貿易摩擦の拡大懸念や世界景気の先行き不透明感などを背景に、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が軟調だったこと
- オーストラリア準備銀行（中央銀行）による利下げ観測が拡大し、5月から作成期末にかけて、オーストラリアドルが円に対して下落したこと

### 組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	騰落率	作成期末組入比率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	外国株式	+3.4%	100.9%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

オーストラリア株式市場は上昇しました。為替相場では、オーストラリアドル安・円高となりました。

### オーストラリア株式市場

作成期首から2019年1月初めにかけて、米中貿易摩擦の拡大懸念や世界景気の先行き不透明感などから、オーストラリア株式市場は軟調でした。その後、4月にかけては、中国政府の景気刺激策発表や米中協議の進展期待などを背景に世界的に株式市場が回復し、オーストラリア株式市場も堅調でした。

5月に入り、米中対立の激化懸念から世界的に株式市場は軟調でしたが、オーストラリアでは総選挙で事前の予想を覆し与党・保守連合が勝利したことが好感され、株価が上昇しました。作成期末にかけては、6月にオーストラリア準備銀行が市場予想通り利下げを行ったこともあって、株式市場は高値圏で推移しました。

当作成期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、作成期首に比べて+10.8%上昇しました。

### 為替市場

作成期首から1月上旬にかけて、株価下落など世界的な金融市場の不安定な動きや、中国景気の先行き不透明感などから、オーストラリアドルは円に対して下落しました。その後は、4月中旬まで、世界的な株式市場の回復や鉄鉱石など商品市況の上昇を好感して、オーストラリアドルは堅調となりました。5月から作成期末にかけては、米中対立の激化懸念や、オーストラリア準備銀行による利下げ観測を背景に、オーストラリアドル売り・円買いの動きが強まりました。

当作成期の為替は、オーストラリアドル・円は作成期首82円50銭から作成期末は75円63銭となり、6円87銭のオーストラリアドル安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

## 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を行いました。作成期を通してマザーファンドの組入れを高位に保ちました。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ●株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、作成期を通じて高位を維持しました。

### ●業種配分

R E I T（不動産投資信託）やインフラ関連など、業績の安定度の高い内需関連業種を多く組み入れました。利下げ観測を背景に、オーストラリアの国債利回りが低下基調を続ける中、R E I Tなど高配当利回り業種の魅力度が一段と高まっていると判断しました。

### ●個別銘柄

国内金融機関の不正について調査した王立委員会の最終報告書が、株式市場が懸念したほどの悪材料とならなかったことから、大手銀行株を追加購入しました。一方、原油や鉄鉱石など堅調な商品市況を背景に株

価が急騰したエネルギー株と鉱山株については、株価上昇により割安感が低下したと判断し、利益確定の売却を行いました。

### ●ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね5%台から6%台の水準を維持しました。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ベンチマークとの差異について（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

第79期から第84期までの1万口当たりの分配金（税引前）は基準価額水準を勘案し、それぞれ50円といたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	(0.789%)	(0.731%)	(0.688%)	(0.682%)	(0.714%)	(0.730%)
当期の収益	16	14	50	49	—	38
当期の収益以外	33	35	—	0	50	11
翌期繰越分配対象額	1,091	1,055	1,101	1,101	1,053	1,043

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。



## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を継続します。マザーファンドの組入比率は高位に保つ予定です。

### オーストラリア高配当株式マザーファンド

米国のトランプ大統領による対中関税引上げ表明を受けて米中交渉の行方に不透明感が高まっており、オーストラリアを含む世界の株式市場は短期的に不安定な動きとなることが予想されます。（6月下旬の米中首脳会談を受け、対中制裁関税第4弾は先送りされました。）一方、足もとで米国の利上げ観測が後退したことなどが安心材料と

なり、世界の株式市場の下落リスクも限定的となる見込みです。

内外景気および企業業績の安定拡大見通しなどから、オーストラリア株式市場は緩やかな上昇が続く見通しです。また、世界の金融市場が再び落ち着きを取り戻し、中国など世界景気の先行き安心感が回復するに従って、豪ドル高・円安の基調に転じると予想します。

中期的にオーストラリア株式市場について堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別していく方針です。

## 3 お知らせ

### 合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

### 約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

（適用日：2019年4月1日）

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 1万口当たりの費用明細（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	54円 (26) (26) ( 2)	0.781% (0.377) (0.377) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 ( 3) ( 1)	0.064 (0.044) (0.020)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 1) ( 0) ( 0)	0.021 (0.017) (0.003) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	59	0.866	

期中の平均基準価額は6,976円です。

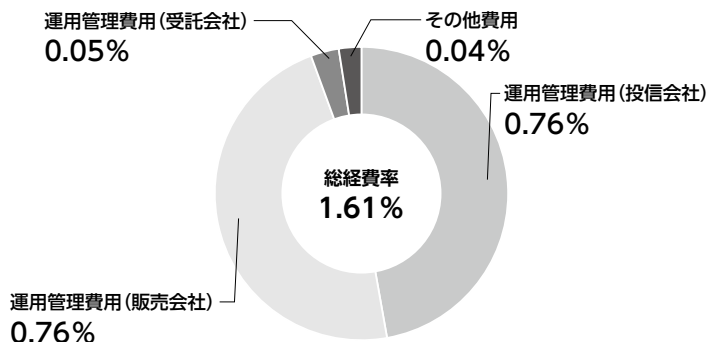
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

### ■ 参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値（小数点以下第3位を四捨五入）です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.61%です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 66,348	千円 140,073	千口 867,279	千円 1,926,783

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

項 目	当 作 成 期
	オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	1,674,273千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	4,563,150千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.36

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細（2019年6月5日現在）

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首		作 成 期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 3,087,314		千口 2,286,383	千円 5,035,303

※オーストラリア高配当株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は2,788,750千口です。

※単位未満は切捨て。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 投資信託財産の構成

（2019年6月5日現在）

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 5,035,303	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,442	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,040,745	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（6,004,822千円）の投資信託財産総額（6,147,983千円）に対する比率は97.7%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=75.63円です。

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2019年1月7日）（2019年2月5日）（2019年3月5日）（2019年4月5日）（2019年5月7日）（2019年6月5日）

項 目	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末	第 84 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>5,950,999,400円</b>	<b>6,276,638,554円</b>	<b>6,287,182,460円</b>	<b>6,078,742,934円</b>	<b>5,398,696,549円</b>	<b>5,040,745,000円</b>
コール・ローン等	8,610,605	3,000,150	4,755,852	2,299,592	732,785	3,978,937
オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	5,938,877,930	6,262,791,842	6,253,254,292	6,057,116,189	5,281,792,874	5,035,303,357
未 収 入 金	3,510,865	10,846,562	29,172,316	19,327,153	116,170,890	1,462,706
<b>(B) 負 債</b>	<b>67,371,960</b>	<b>66,951,110</b>	<b>84,160,662</b>	<b>70,650,881</b>	<b>162,146,138</b>	<b>48,306,534</b>
未払収益分配金	46,809,962	45,751,083	42,952,606	41,276,651	37,646,683	36,703,869
未払解約金	11,810,413	13,536,079	33,617,997	21,316,718	116,593,882	5,132,360
未払信託報酬	8,715,298	7,632,218	7,558,729	8,024,142	7,872,634	6,443,374
未払利息	23	7	6	-	2	10
その他未払費用	36,264	31,723	31,324	33,370	32,937	26,921
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>5,883,627,440</b>	<b>6,209,687,444</b>	<b>6,203,021,798</b>	<b>6,008,092,053</b>	<b>5,236,550,411</b>	<b>4,992,438,466</b>
元 本	9,361,992,581	9,150,216,725	8,590,521,231	8,255,330,338	7,529,336,774	7,340,773,855
次期繰越損益金	△3,478,365,141	△2,940,529,281	△2,387,499,433	△2,247,238,285	△2,292,786,363	△2,348,335,389
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>9,361,992,581口</b>	<b>9,150,216,725口</b>	<b>8,590,521,231口</b>	<b>8,255,330,338口</b>	<b>7,529,336,774口</b>	<b>7,340,773,855口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>6,285円</b>	<b>6,786円</b>	<b>7,221円</b>	<b>7,278円</b>	<b>6,955円</b>	<b>6,801円</b>

※当作成期における作成期首元本額9,420,803,626円、作成期中追加設定元本額581,256,904円、作成期中一部解約元本額2,661,286,675円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 損益の状況

〔自2018年12月6日〕  
〔至2019年1月7日〕
〔自2019年1月8日〕  
〔至2019年2月5日〕
〔自2019年2月6日〕  
〔至2019年3月5日〕
〔自2019年3月6日〕  
〔至2019年4月5日〕
〔自2019年4月6日〕  
〔至2019年5月7日〕
〔自2019年5月8日〕  
〔至2019年6月5日〕

項 目	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期	第 84 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 168円	△ 203円	△ 299円	△ 81円	△ 92円	△ 354円
支 払 利 息	△ 168	△ 203	△ 299	△ 81	△ 92	△ 354
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 536,003,108	△ 510,515,786	△ 420,959,293	△ 95,738,464	△ 199,046,716	△ 70,613,539
売 買 益	6,376,147	520,559,623	439,880,066	97,790,620	3,742,730	2,055,425
売 買 損	△ 542,379,255	△ 10,043,837	△ 18,920,773	△ 2,052,156	△ 202,789,446	△ 72,668,964
(C) 信 託 報 酬 等	△ 8,751,540	△ 7,663,935	△ 7,590,053	△ 8,057,512	△ 7,905,533	△ 6,470,085
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 544,754,816	△ 502,851,648	△ 413,368,941	△ 87,680,871	△ 206,952,341	△ 77,083,978
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 492,531,342	△ 1,050,876,852	△ 551,430,251	△ 171,989,414	△ 112,685,722	△ 341,662,977
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,394,269,021	△ 2,346,752,994	△ 2,206,485,517	△ 2,121,653,091	△ 1,935,501,617	△ 1,892,884,565
（配当等相当額）	（ 760,303,417）	（ 745,180,297）	（ 701,721,209）	（ 676,524,544）	（ 618,251,537）	（ 605,783,992）
（売買損益相当額）	（△3,154,572,438）	（△3,091,933,291）	（△2,908,206,726）	（△2,798,177,635）	（△2,553,753,154）	（△2,498,668,557）
(G) 計 (D + E + F)	△ 3,431,555,179	△ 2,894,778,198	△ 2,344,546,827	△ 2,205,961,634	△ 2,255,139,680	△ 2,311,631,520
(H) 収 益 分 配 金	△ 46,809,962	△ 45,751,083	△ 42,952,606	△ 41,276,651	△ 37,646,683	△ 36,703,869
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 3,478,365,141	△ 2,940,529,281	△ 2,387,499,433	△ 2,247,238,285	△ 2,292,786,363	△ 2,348,335,389
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,394,269,021	△ 2,346,752,994	△ 2,206,485,517	△ 2,121,653,091	△ 1,935,501,617	△ 1,892,884,565
（配当等相当額）	（ 760,339,917）	（ 745,278,084）	（ 702,330,889）	（ 676,796,281）	（ 618,253,710）	（ 606,359,931）
（売買損益相当額）	（△3,154,608,938）	（△3,092,031,078）	（△2,908,816,406）	（△2,798,449,372）	（△2,553,755,327）	（△2,499,244,496）
分 配 準 備 積 立 金	261,465,293	220,889,971	243,613,675	232,608,971	174,863,076	159,303,500
繰 越 損 益 金	△ 1,345,561,413	△ 814,666,258	△ 424,627,591	△ 358,194,165	△ 532,147,822	△ 614,754,324

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期	第 84 期
(a) 費用控除後の配当等収益	15,435,110円	12,884,719円	80,634,470円	40,595,706円	－円	28,012,167円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	－	－	－	－	－	－
(c) 収益調整金	760,339,917	745,278,084	702,330,889	676,796,281	618,253,710	606,359,931
(d) 分配準備積立金	292,840,145	253,756,335	205,931,811	233,289,916	212,509,759	167,995,202
(e) 分配可能額(a + b + c + d)	1,068,615,172	1,011,919,138	988,897,170	950,681,903	830,763,469	802,367,300
1万口当たり分配可能額	1,141	1,105	1,151	1,151	1,103	1,093
(f) 分配金額	46,809,962	45,751,083	42,952,606	41,276,651	37,646,683	36,703,869
1万口当たり分配金額(税引前)	50	50	50	50	50	50

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
		50円	50円	50円	50円	50円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

第14期（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月15日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 率	純 総 資 産 額
		騰 落 率	中 率			
10期（2017年6月5日）	円	%		%	%	百万円 5,579
11期（2017年12月5日）	20,297	10.4		59.4	37.2	8,374
12期（2018年6月5日）	22,080	8.8		60.8	36.7	8,825
13期（2018年12月5日）	22,093	0.1		63.3	34.0	7,718
14期（2019年6月5日）	21,298	△3.6		64.3	33.6	6,141
	22,023	3.4		60.6	36.5	

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 率
		騰 落 率	率		
(期 首) 2018年12月5日	円	%		%	%
12月末	21,298	—		64.3	33.6
2019年1月末	19,856	△6.8		64.3	32.9
2月末	21,145	△0.7		66.2	31.7
3月末	22,675	6.5		65.4	32.2
4月末	22,764	6.9		64.6	33.0
5月末	23,216	9.0		64.1	34.2
(期 末) 2019年6月5日	22,160	4.0		61.4	35.6
	22,023	3.4		60.6	36.5

※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

### 基準価額等の推移



期首	21,298円
期末	22,023円
騰落率	+3.4%

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2018年12月6日から2019年6月5日まで）

当ファンドは、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月から4月にかけて、中国政府の景気刺激策発表や米中通商協議進展への期待などを背景に、オーストラリア株式市場が堅調だったこと</li> <li>・ 1月のブラジル鉱山でのダム決壊事故を受けた供給懸念から鉄鉱石価格が上昇し、オーストラリアの鉱山株が堅調だったこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期首から2019年1月上旬にかけて、米中貿易摩擦の拡大懸念や世界景気の先行き不透明感などを背景に、オーストラリアを含めて世界的に株式市場が軟調だったこと</li> <li>・ オーストラリア準備銀行（中央銀行）による利下げ観測が拡大し、5月から期末にかけて、オーストラリアドルが円に対して下落したこと</li> </ul>

### ▶ 投資環境について (2018年12月6日から2019年6月5日まで)

オーストラリア株式市場は上昇しました。為替相場では、オーストラリアドル安・円高となりました。

#### オーストラリア株式市場

期首から2019年1月初めにかけて、米中貿易摩擦の拡大懸念や世界景気の先行き不透明感などから、オーストラリア株式市場は軟調でした。その後、4月にかけては、中国政府の景気刺激策発表や米中協議の進展期待などを背景に世界的に株式市場が回復し、オーストラリア株式市場も堅調でした。

5月に入り、米中対立の激化懸念から世界的に株式市場は軟調でしたが、オーストラリアでは総選挙で事前の予想を覆し与党・保守連合が勝利したことが好感され、株価が上昇しました。期末にかけては、6月にオーストラリア準備銀行が市場予想通り利下げを行ったこともあって、株式市場は高値圏で推移しました。

当期の市場の動きをS & P / A S X 200インデックスで見ると、期首に比べて+10.8%上昇しました。

#### 為替市場

期首から1月上旬にかけて、株価下落など世界的な金融市場の不安定な動きや、中国景気の先行き不透明感などから、オーストラリアドルは円に対して下落しました。その後は、4月中旬まで、世界的な株式市場の回復や鉄鉱石など商品市況の上昇を好感して、オーストラリアドルは堅調となりました。5月から期末にかけては、米中対立の激化懸念や、オーストラリア準備銀行による利下げ観測を背景に、オーストラリアドル売り・円買いの動きが強まりました。

当期の為替は、オーストラリアドル・円は期首82円50銭から期末は75円63銭となり、6円87銭のオーストラリアドル安・円高となりました。

### ▶ ポートフォリオについて (2018年12月6日から2019年6月5日まで)

#### 株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

#### 業種配分

REIT（不動産投資信託）やインフラ関連など、業績の安定度の高い内需関連業種を多く組み入れました。利下げ観測を背景に、オーストラリアの国債利回りが低下基調を続ける中、REITなど高配当利回り業種の魅力度が一段と高まっていると判断しました。



## 個別銘柄

国内金融機関の不正について調査した王立委員会の最終報告書が、株式市場が懸念したほどの悪材料とならなかったことから、大手銀行株を追加購入しました。一方、原油や鉄鉱石など堅調な商品市況を背景に株価が急騰したエネルギー株と鉱山株については、株価上昇により割安感が低下したと判断し、利益確定の売却を行いました。

## ポートフォリオの特性

ファンド全体の予想配当利回りは、概ね5%台から6%台の水準を維持しました。

## ▶ベンチマークとの差異について (2018年12月6日から2019年6月5日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

米国のトランプ大統領による対中関税引上げ表明を受けて米中交渉の行方に不透明感が高まっており、オーストラリアを含む世界の株式市場は短期的に不安定な動きとなることが予想されます。(6月下旬の米中首脳会談を受け、対中制裁関税第4弾は先送りされました。)一方、足もとで米国の利上げ観測が後退したことなどが安心材料となり、世界の株式市場の下落リスクも限定的となる見込みです。

内外景気および企業業績の安定拡大見通しなどから、オーストラリア株式市場は緩やかな上昇が続く見通しです。また、世界の金融市場が再び落ち着きを取り戻し、中国など世界景気の先行き安心感が回復するに従って、豪ドル高・円安の基調に転じると予想します。

中期的にオーストラリア株式市場について堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別していく方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細 (2018年12月6日から2019年6月5日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	14円 (10) (4)	0.064% (0.045) (0.020)	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.018 (0.017) (0.001)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	18	0.082	

期中の平均基準価額は21,969円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年12月6日から2019年6月5日まで)

#### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株 600	千オーストラリアドル 2,496	百株 21,100	千オーストラリアドル 18,898

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

#### (2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	オーストラリア	TRANSURBAN GROUP	100,000	千オーストラリアドル 1,235	110,000	千オーストラリアドル 1,421
		APA GROUP	100,000	937	—	—
		DEXUS	—	—	100,000	1,265
		SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	—	—	800,000	1,784
		SCENTRE GROUP	—	—	300,000	1,211
		VICINITY CENTRES	—	—	400,000	1,037
合 計		200,000	2,172	1,710,000	6,720	

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年12月6日から2019年6月5日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,673,860千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,563,150千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.36

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2018年12月6日から2019年6月5日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年12月6日から2019年6月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2019年6月5日現在)

#### (1) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等
	株数	株数	評価額	評価額	
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
AUST AND NZ BANKING GROUP LT	1,600	1,800	4,996	377,907	銀行
AMCOR LIMITED	1,500	—	—	—	素材
WESTPAC BANKING CORPORATION	1,200	1,200	3,270	247,310	銀行
FORTESCUE METALS GROUP LIMITED	10,500	1,000	781	59,067	素材
BHP GROUP LTD	1,400	900	3,357	253,957	素材
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	500	600	4,705	355,854	銀行
RIO TINTO LIMITED	400	300	2,956	223,622	素材
INSURANCE AUSTRALIA GROUP LT	2,635	2,635	1,950	147,482	保険
SUNCORP GROUP LTD	2,500	2,100	2,698	204,087	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	1,014	1,014	2,681	202,768	銀行
JB HI-FI LTD	1,000	800	2,176	164,631	小売
IOOF HOLDINGS LIMITED	5,200	2,600	1,318	99,695	各種金融
QBE INSURANCE GROUP LIMITED	2,200	2,200	2,481	187,683	保険
ALUMINA LTD	14,500	11,500	2,760	208,738	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	800	500	1,705	128,949	エネルギー
WHITEHAVEN COAL LTD	6,000	6,000	2,292	173,343	エネルギー
MACQUARIE GROUP LTD	360	360	4,116	311,338	各種金融
AGL ENERGY LIMITED	1,700	1,000	2,041	154,360	公益事業
SOUTH32 LTD	11,000	9,000	2,916	220,537	素材
合計	株数・金額	株数	金額	金額	
	66,009	45,509	49,204	3,721,336	
	銘柄数 <比率>	19	18	—	<60.6%>

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### (2) 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		期 末		組 入 比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(オーストラリア)	口	口	千オーストラリアドル	千円	%	
MIRVAC GROUP	600,000	600,000	1,866	141,125	2.3	
TRANSURBAN GROUP	298,122	288,122	4,120	311,606	5.1	
CHARTER HALL RETAIL REIT	160,000	160,000	720	54,453	0.9	
APA GROUP	—	100,000	1,025	77,520	1.3	
ALE PROPERTY GROUP	290,000	290,000	1,334	100,890	1.6	
STOCKLAND	850,000	850,000	3,816	288,641	4.7	
DEXUS	180,000	80,000	1,052	79,623	1.3	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	800,000	—	—	—	—	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUS	687,418	687,418	2,894	218,875	3.6	
SYDNEY AIRPORT	600,000	600,000	4,452	336,704	5.5	
NATIONAL STORAGE REIT	2,400,000	2,400,000	4,104	310,385	5.1	
RURAL FUNDS GROUP	866,665	866,665	1,941	146,822	2.4	
SCENTRE GROUP	791,570	491,570	1,858	140,530	2.3	
VICINITY CENTRES	400,000	—	—	—	—	
AVENTUS GROUP	200,000	200,000	456	34,487	0.6	
合 計	口 数 ・ 金 額	9,123,775	7,613,775	29,639	2,241,668	
	銘 柄 数 <比 率>	14	13	—	<36.5%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

## ■ 投資信託財産の構成

(2019年6月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
投 資 証 券	3,721,336	60.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,241,668	36.5
投 資 信 託 財 産 総 額	184,979	3.0
	6,147,983	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産（6,004,822千円）の投資信託財産総額（6,147,983千円）に対する比率は97.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=75.63円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月5日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	6,147,983,624円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	143,639,195
株 式(評価額)	3,721,336,879
投 資 証 券(評価額)	2,241,668,554
未 収 配 当 金	41,338,996
(B) 負 債	6,249,575
未 払 解 約 金	6,235,370
未 払 利 息	372
そ の 他 未 払 費 用	13,833
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	6,141,734,049
元 本	2,788,750,213
次 期 繰 越 損 益 金	3,352,983,836
(D) 受 益 権 総 口 数	2,788,750,213口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,023円

※当期における期首元本額3,623,979,543円、期中追加設定元本額152,793,868円、期中一部解約元本額988,023,198円です。

※上記表中の次期繰越損益金マイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）	2,286,383,943円
オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）	62,304,629円
SMAM・オーストラリア高配当株ファンド（適格機関投資家専用）	440,061,641円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2019年4月1日)

## ■ 損益の状況

(自2018年12月6日 至2019年6月5日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	235,149,966円
受 取 配 当 金	235,152,816
受 取 利 息	27,590
支 払 利 息	△ 30,440
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	54,325,458
売 買 損 益	771,811,056
売 買 損 益	△ 717,485,598
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,268,332
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	288,207,092
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	4,094,217,667
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	173,452,171
(G) 解 約 差 損 益 金	△1,202,893,094
(H) 計 算 (D+E+F+G)	3,352,983,836
次 期 繰 越 損 益 金(H)	3,352,983,836

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。